

事務局だより INFORMATION

50周年に向け、
新たな一歩を踏み出す。

KIMASSI

KANAZAWA

Vol.101
January

KANAZAWA TOIYA CENTER QUARTERLY NEWS 2008年1月 金沢問屋センターニュース
URL <http://www.kimassi.or.jp/>

理事長 新年のごあいさつ
「金沢ビジネスメッセ」開催
平成20年の経済見通し
子年男 大いに語る
青年部会研修視察
バトンエッセイ
うちのキラリンさん
事務局だより

11月

- 6日 理事会
 1. 40周年記念実行委員会より
 - (1) 40周年記念式典および祝賀会について
 2. 総務委員会より
 - (1) 中間決算について
 3. 厚生委員会より
 - (1) 完成40周年記念・女性社員研修会について
 4. 組合運営委員会より
 - (1) 高速道路共同利用事業について
 - (2) 金沢流通会館の収支報告について
 5. 事業戦略委員会より
 - (1) 卸売業の経営革新のための交流会の開催について
 6. その他 (事務局より)
 - (1) 「金沢商人塾」第3回例会の結果と第4回例会について
 - (2) 河川工事の実施について
 - (3) ADR(裁判によらない紛争解決)について
 - (4) 問屋社責任役員への届出について
- 8日 新入社員フォローアップ研修

●9日～10日 青年部会仙台視察



●23日～25日 協金沢問屋センター完成40周年記念女性社員研修会
於：つる幸 28社89名参加



12月

- 4日 理事会
 1. 青年部会より
 - (1) ビジスマッチングについて
 2. 総務委員会より
 - (1) 新年祭について
 - (2) 新年互礼会について
 - (3) 景況調査について
 - (4) 生活習慣病予防健診について
 - (5) 新入社員歓迎式について
 3. 厚生委員会より
 - (1) 完成40周年記念・女性社員研修会について
 4. 組合運営委員会より
 - (1) 高速道路共同利用事業について
 5. 事業戦略委員会より
 - (1) 広報誌第100号について
 6. その他 (事務局より)
 - (1) 商団連創立40周年記念事業に伴う表彰について
 - (2) 事務局の年末年始休日について
 - (3) 「金沢商人塾」第4回例会の結果と第5回例会について

お客様の声を聞き、常に好奇心を持って



株式会社丸一商店
松本 寛人さん

アルバイトから入って8年、入社以来、婦人服全般の小売を担当しています。北陸3店舗を回ると、それぞれの地域によって売れ筋や流行がまったく違って、それを見極めながら仕入をしないといけないので、パートさんとのコミュニケーションがとても大事になります。パートさんの髪型が変わったり、いつもと違ったテイストの服を着ていたりするとすぐに声をかけたりどこで買ったかを聞きます。ライバル店だったりするとすぐにチェック。休みの日も仕事が頭から離れませんね。好きな言葉・信条は「継続は力なり」。お客様が買った服を着て来てくださると、本当にうれしいです。地域のお客様を飽きさせないよう品揃えに気を配り、将来はオリジナル商品の製造・販売までできるようになりたいと思います。

毎日が時間との勝負で、時は金なりを実感



株式会社マルシン
東田 卓也さん

学生時代から食に興味があり、いろんなところを食べ歩きました。今年入社4年目ですが、内灘・敦月方面の飲食店等のルートセールスが仕事です。飲食店といってもイタリアンレストランから居酒屋、保育園の給食と幅広く、とくに和食で鍛えられました。金沢の飲食店密度は全国で1～2位らしく、飲食店さんでも季節や月替わり・週替わりのメニューで集客に躍起で、こちらも多様性を求められます。日頃肝に銘じているのは「お客様第一・お客様ありき」「かゆい所に手が届く」こと。それで信頼を得られた時の醍醐味は何とも言えませんね。夢は、この仕事に携わらせてもらって何かの形で社会的功績をあげたい、社会貢献をしたいこと。現在は一人暮らしなので、休日は炊事・洗濯とまるで主婦のようですね。

うちの
キラリンさん
問屋町にお勤めの元気な社員の方をご紹介します

編集後記

騒々しい一年が過ぎ去りました。偽装、殺人等、事件が多すぎます。最近では青少年よりも、壮年以上の犯罪がすごく増えているそうです。大人の教育が必要な時代が来たのかも知れません。改革、改革と言うけれど、自己改革をしようとしている人はどれくらいいるのかな。ある僧侶のお話の一部です。「みんなどうすることが正しいか、国だって政治家だって心は知っている。でも怖い。つまはじきにされると思うから。社会で生きていけないと

思うから誰もやらない。やろうよ。全員がつまはじきにされたいじゃない。みんなそっちへ行ったらさ」

問屋センターも新しい一歩を踏み出しました。街に賑わいを。新しい年、新しい思いを自分のために楽しもうと思います。楽あれば楽あり。

(バック・T・T)

新年のごあいさつ

協同組合 金沢問屋センター 理事長 富木 昭光



新年明けましておめでとござい
ます。
平成20年の新春を迎え、謹んで新
年のご挨拶を申し上げます。
皆様には、清々しい新年を迎えら
れたこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返ると、雪の
ない穏やかな冬でございましたが、
3月25日、突如予期せぬ能登半島
地震が発生し、輪島・門前地区を中
心に甚大な被害を蒙りました。中
には私達のお得意先も多数含まれてお
り、その後大分復興されたようであ
りますが、一日も早く完全復旧を願
うものであります。
次いで各地で猛暑や台風など一年
を通じて、多くの自然災害に見舞わ
れた年でもありました。

金融不安が広がり、その原油価格
の高騰で、ガソリンや灯油価格が急
騰し、企業をはじめ個人生活を直撃
しております。
また、政治に目を転ずると、自民
党の参議院選挙での惨敗から安倍総
理の辞任、福田内閣の発足、防衛省
の汚職、消えた年金問題等、そして
後を絶たない食品偽装問題などが噴
出して、社会不安につながる話題が
多く、日本人として倫理観が問われ
た年であったように思います。

さて、当組合の昨年の事業実績で
ありますが、特に10月には当センタ
ー完成40周年記念式典を無事に且つ
盛大に挙行することができました。
これも偏に皆様のご支援の賜と改め
てこの場をお借りして厚くお礼申し
上げます。
40年前に私達の先達がこの地を選
び、集団移転し、さまざまな困難を
乗り越え今日に至ったことは万感こ
もこも、感謝してもきれない気持
ちで一杯であります。この40周年記
念を機に次なる50周年に向けて経営
体質の改善強化と自助努力を続けたい
と念願いたしております。

その他の主な組合事業としてしまし
ては前年度から中小企業組合等活路開
拓事業に取り組み、その内容を掘り
下げるための「卸売業の経営革新の
ための交流会」を開催し、研究を重
ねております。
また、8月には青年部会による企
画と全面的な協力を得て、「第3回
キマッシカナザワなつまつり」を
開催し、組合員及び従業員と地域住
民に交流の場を提供し、炎天下多数
の市民の皆様参加のもと盛大に挙
行することができました。

その他40周年記念事業の一環で、
石川県を始め金沢市並びに関係各
機関の皆様方には、当組合の更なる
飛躍のために、一層のご指導ご支援
を賜りますことを心からお願ひ申し
上げますとともに、皆様方のご健
勝とご発展をお祈りいたします。
私の年頭のご挨拶といたします。

社員旅行として家族一緒に長島リッ
トトに行き、楽しいひと時を過
しました。
また、女子社員研修教育として、
料亭で実践的な礼儀作法を習得いた
しました。

さて、新しい年を迎え、次なる完
成50周年へ向けてのスタートの年と
なりますので、私もここで改め
て原点に立ち返って更なる飛躍の年
にしたいと思っております。

本年の組合運営につきましては、
まず3月12日に開催予定の「ビジネ
スマッチング事業」があります。こ
れは青年部会の発案で、全組合員が
一堂に会して、各社の事業や新たな
商品などを紹介し、組合員相互また
は対外的に交流することで新たなビ
ジネス創出につながる事業展開を探
ろうとするものであります。皆様
のご参加及びご協力を宜しくお願ひ申
し上げます。

「金沢商人塾」は第5期目を迎え
ますが、引き続き人材育成事業とし
て開講を続けたいと念願してありま
す。
その他、より一層一丁の活用で、
各企業の活性化も図りたいと考えて
おりますが、いずれの事業も組合員
各位のご協力・ご支援なくして進め
ることができませんので、積極的に
ご協力を宜しくお願ひ申し上げま
す。

石川県を始め金沢市並びに関係各
機関の皆様方には、当組合の更なる
飛躍のために、一層のご指導ご支援
を賜りますことを心からお願ひ申し
上げますとともに、皆様方のご健
勝とご発展をお祈りいたします。
私の年頭のご挨拶といたします。

平成20年の経済見通し



新年、明けましておめでとござ
います。
皆様方におかれましては、晴れ
やかな新春をお迎えのこと、心
からお慶び申し上げます。また日
頃のご愛顧に対し深く御礼申し上
げます。

①平成19年を振り返って
さて、内閣府、日銀とも、最近
の経済動向については、「一部に
弱さはみられるものの、緩やかな
回復が続いている」と声を揃えて
います。
しかし、これらの見解は、小生
のみならず、皆様の実感とは若干
異なっているのではないでしょ
うか。

原油や原材料などの価格高騰は
続き、サブプライムローン問題に
端を発した欧米経済の失速にとも
なう輸出産業の減速、改正建築基
準法施行の影響による住宅投資の
減少(前年比▲12%)など企業を
取り巻く環境に続々暗雲が立ち込

めてきております。
また、食品・建材偽装問題、由
に浮いた年金問題、防衛省問題、
自民党の大敗による国会の混迷な
どにより、日本全体に重い空気が
漂っております。
実際、12月発表の平成19年
度の実質GDP成長率見通しは
+1.5%(3ヶ月前予測+
1.9%)と下方修正されてあり
ます。

②平成20年の見通し
本年については、少なくとも第
一4半期、前述の悪材料により不
安定な局面が続くと思われま
す。しかし、次の要因から、その後景
況は持ち直してくるのではないかと
考えます。
①住宅投資意欲自体は極端に落
ち込んでいたとは言えず、改
正建築基準法に則った検査体
制が定着化することにより、
反動増が見込まれ、景気の下
支え要因になる。
②これまでだぶついていた一丁
関連財の在庫調整が一巡し、
停滞していた生産が増加基調
に戻ってきている。企業収益
は落ち込んできているとはい
え、まだ高い水準にあり、設
備投資の増加基調は維持され
る。

③米国の景気動向は抜きにして
も、中国など新興工業国に牽

北陸銀行金沢問屋町支店 支店長 宮野 正彦

引かれて、世界経済全体とし
てみると平成20年も高めの成
長が持続する中、日本企業は
新興国などの成長の恩恵を受
けられる事業構造を構築して
おり、このため輸出を起点と
した生産・所得・支出の好循
環メカニズムは保たれる。
④サブプライムローン問題によ
る世界的な金融市場の金融不
安は各国の主要金融機関の決
算が一巡するまで続くと思わ
れるが、このまでに各国当局
の迅速な対策・FRBの金融
緩和・米金融機関への他国
からの出資や融資などの支援
が実施されており、損害の範
囲が見えた時点で落ち着いて
くると思われ。

③年頭に将来を思う
20年の経済には直接関係ありま
せんが、ここからは僥越ながら日
頃からの小生の思いを述べさせて
いただきます。
かつて、イギリスにアメリカが
追いついたように、またアメリカ
に日本が追いついたように、今、
日本はBRICS等に激しく追
上げられています。

先進国企業は生産「コスト」の削減
を狙って、その他の国々に工場を
作ってきました。国内生産を続け
れば国内に落ちるはずの金が、B
RICSなど国外に流れたので
す。優れた技術も流出。結果、新
興国などの国力が増し、国民所得
も高まり、生活も豊かになってき
ました。
原料国も先進国と言ったままの
生産量・価格設定から脱却、自ら
の国力を高める動きが強まってい
ます。
一方日本を見ると、「緩やかな
回復」と言いながらも、他国に比
べ、はるかに鈍い成長となってい
ます。「世界の平準化」が着実に
進んできています。平成20年の経
済動向もこの大きなトレンドのこ
く一部に過ぎません。
この流れに打ち勝ち、日本が世
界における現在の地位を維持・向
上させるためには、日本人の「勤
勉性」を守るための教育制度改革
は勿論必要ですが、最も重要なこ
とは、企業が現状に慢心すること
なく、他に真似のできない技術・
戦略を常に磨いていくことだと考
えます。私も通常業務のみな
らず、そういった面でもなにかし
らのお役に立てるよう努力してい
く所存でございます。
最後となりましたが、皆様方の
益々の「健勝」とご発展をお祈り申
し上げます。

「金沢ビジネスメッセ」開催

開催日/平成20年3月12日(水)
会場/金沢流通会館

事業内容/組合員各社が自社の事業や新
たな商品などを紹介し、組合員相互の交
流、また外部参加者との対外的な交流を
図り、新たな事業展開を探ることを目的
とします。

- 以下の3つを柱に事業を展開します。
- ①「魅せる」：組合員企業が自社の事業
や新たな商品などを披露することで、
「新たな販路(顧客)」を獲得する
- ②「見つける」：組合員企業が他社の事
業内容を再認識し、その魅力に触れ
ることで、「新たな事業資産(取扱商
品・サービス等)」を見出す
- ③「生み出す」：組合員企業が自社と他
社の事業資産を重ね合わせ、その可
能性を相互に検討し、「新たな面白い(新
商品、新事業等)」を生み出す

出展者/組合員企業、石川県、金沢市、
金沢商工会議所、財石川県産業創出支援
機構、石川県中央会、県内学術機関他



『構造変化に

対応していかなければ』



川上産業株式会社
社長 茨木 喜幸

新年、明けましておめでとうございませう。皆様方には、「ご健勝で新しい年を迎えられましたこと」を心よりお慶び申し上げます。また、日頃より皆様方には大変お世話になっており、この場を借りてお礼を申し上げます。

なお正月を迎え、ほとんど積雪を見ないままに春を迎えようとした矢先、能登半島地震が発生し、能登地域では多大な被害を受けるとともに、かつてない暖冬も加わり、自然の脅威と異常気象を実感した年でありました。また、7月の参院選で自民党が惨敗し、国民の期待を寄せた安倍首相は突然辞任を表明し、福田内閣が後を受けたものの、消えた年金問題をはじめとして防衛装備疑惑、食品偽装、テロ対策法期限切れなど課題は山積といった状況にあり、国民の不信、不安は募るばかりでありました。景気の方も、輸出産業をはじめとした製造業の業績好調もあり、マクロ的には好調と言われている

ものの、米国のサブプライムローン問題や原油高騰、住宅着工件数の減少など、先行き不安を残したままの越年といった状況にありまます。

私どもの建設業界を含めて、県内経済におきましても、大都市圏での景気的好調の実感はなく、地方経済をリードする建設業、卸・小売・サービス業は、グローバル化と原油高騰などにより厳しい経営を余儀なくされ、縮小する市場を前に、大企業、中小企業入り乱れての大競争時代に突入し、企業間、地域間の格差は増大の一途にありまます。

社の経営を引き継ぎ、8回目のお正月を迎えることができました。仕入先や販売先に迷惑をかけずに事業継承できたことに感謝するとともに、対象業界である建設業は厳しい状況にありますが、興味のあるゴルフとともに健康維持に努めながら、社業の発展に邁進していきたいと思っております。

ダーウィンは、強いものだけが生き残っているのではない、環境変化に対応したもののだけが生き残る、と語っておりますが、私どもの中小企業は、人手対策、後継者問題、決算管理など経営上の課題は山積しております。チエンジをチャンスと捉えて、大きく変わる構造変化に対応していかなければと思っております。

最後にになりましたが、皆様方の「ご発展を心からお祈り申し上げます」とともに、今後とも、「ご指導」「鞭撻を賜りますよう、よろしくお祈りを申し上げます」。

子 年 勇 大いに語る

『未来価値創造をめざして』



中西株式会社
社長 中西 一彰

新年明けましておめでとうございませう。私の人生の中で年男は何回廻って来るのかわかりませんが、ビジネスにおいてはこれからの12年間がおそらくもっとも充実した、あるいは厳しいものとなるのではな

らなう。

原稿を書くにあたり昨年の「年男大いに語る」を読み直しました。柳瀬常務理事の標題が「将来の発展に向け新しいビジョンを」となっていました。

昨年青年部会では「問屋とは何か？」を「組合」「各企業」「問屋町」の3つの観点から見つめ直し検証致しました。私自身におきましても厳しい経済環境の中、これからを担う青年部会のメンバーと共に一緒に語り合ったことは大変勉強になりました。

「問屋町からビジネスセンターへ生まれ変わる。あるいは革新する。『将来の発展に向けた新しいビジョン』を実現する一つの手段として、本年3月12日に金沢流通会館で「金沢ビジネスメッセ」が開催されます。組合員企業間でのビジネスマッチングあるいは行政へ向けた組合としての事業戦略的な提案等、新しい発想を取り入れたビジネスメッセでありたいと思っております。

商品とノベルティグッズ(販促品)の卸会社です。私は「金沢ビジネスメッセ」を本年のあるいはこれからの12年間の基点と考えています。弊社の取扱商品に今後どのような付加価値を加えてブランドアップするのか? 弊社の真の強みは何なのか? 本年は私自身の心と知識と行動を変えていかなければならないと考えます。

最後になりましたが次回の年男60歳「還暦を迎える私自身が信じられませんか。想像できません。本年もよろしくお祈り致します」。

青年部会研修視察

新しいことを発信し、メディアの注目を集め続ける 協同組合仙台卸商センター

青年部会 若林 孝

協同組合として今尚収益を上げ続け、活気があるといわれている「協同組合仙台卸商センター」(以下仙台卸町)へ視察に行ってみました。昭和40年設立で、現在では食料品49社、繊維品34社、日用雑貨品84社、建材・燃料45社、機械・金属63社の計275社、総従業員数5000名、団地面積17万坪が概要で、金沢問屋センター(以下金沢問屋町)のほぼ倍の規模です。また、仙台駅から車で15分、繁華街からは30分と立地は問屋町と同じような位置です。仙台卸町へタクシーに乗って、表通り裏通りをぐるぐる回ってみました。見た目の印象はまさに金沢問屋町と同じような雰囲気でした。

私が驚いた点は2つありました。一つは「この土地を売って欲しい」という組合外の企業が少なくない」ということです。金沢問屋町では空白地の土地が安い金額で売買され問題のひとつとなっておりますが、仙台卸町では「中心地からそれほど離れていない割りに安い土地」ということで人気が出てきているということでした。2つ目は「ハードではなくソフト面で活気のある町のイメージ作りが成功している」ということです。次から次へと新しいことを始め、メディアの注目を寄せ続けることが活気のある町のイメージになっていくようです。これをやればよくなるという大掛かりなものがあるわけではなく、次から次へと新しいことを出し続けるということが肝のよう

に感じました。

仙台卸町の中心部にあるイベントホールや会議室のある卸町会館で、仙台卸町の奥田理事長を含め4名にお話をさせていただきました。奥田理事長は若い時に金沢問屋町に視察に訪れ、その時高速カードのことを初めて教えてもらい、その後の仙台卸町の収益事業の柱になったという経緯にふれ、今回はぜひ金沢問屋町の役に立つことは何でもお話ししたいと熱く語っていただきました。

多くの収益事業や組合員支援事業をされており、金沢問屋町にないものは、ETC還付金の成功、大学や芸術家とのコラボレーションの活発な動き、若者向けスタジオの成功、車燃料の共同購入と共同ショッピングモールの採算悪化問題、わけ隔てない新入会員の受け入れ、居住環境の積極的整備、景観整備のための規制緩和と強化、その結果、年間5%前後の脱退会員とそれ以上の新入会員による総会員の増加などです。

バブル世代 vol.3

『思いやりって何だろう』



株式会社 マツモト
代表取締役社長 大野木 義人

組合員の皆様方にはどのようなお正月だったでしょうか。今年こそ、穏やかで平和な年であることを願っております。

昨年はさまざまな事件が多発し、政治家や公務員の不祥事をはじめ、企業においても、経営者としての品性を欠くようなニュースが多発しました。今こそ、「商道」いつの時代になっても変わらない「商売の基本」を忘れてはなりません。今日という日はもう過去のものとなってしまっただけ、移り変わりの激しい時代であっても「人と人」「心と心」の商いの基本は変わってはいかないのです。この「商道」は、企業の大小によっても変わることはないでしょう。また、家族内においても、親が子を、子が親を傷つけるという痛ましい事件が後を絶ちませんでした。

相手の立場に立って考える心、人を思いやる心、そんな人間教育が必要なのではないでしょうか。PHP友の会新聞の中から松野宗純氏が記してお話を紹介して、私のバトンエッセイとします。これは、財団法人修養団の中山靖雄先生の講演会で聞いた話です。

ある夏、重い障害のある十七歳の少女が

お母さんと一緒にキャンプに参加しました。七夕祭りで、先生は少女に「願いごとを短冊に書いてあげるよ」と声をかけました。少女は「別がない」と答えました。「何かあるだろう」「ない」「抜けるようになりたいとか、あるだろう」。少女は、しばらく目を閉じて考えていましたが「やっぱりないわ。先生ごめんね」と答えました。お母さんが「なぜ先生に素直に言えないの! そんな可愛げのない娘に育てた覚えはない」と叱りましたが、少女は「ないものはないよ」と言い返しました。

それを見て先生は、頭から冷水をかけられた思いだったそうです。心ないことを言ったと後悔し、少女に謝りました。

「先生、心配しなくていいよ。先生がそんなに気になるんなら、夕方までに考えとくよ」。夕方になって少女は「先生、どんなことでも書いてくれるの?」と聞いてきました。

彼女の願いは「お母さんより一日早く死なせてください」でした。一人で生きていくことのできない自分を残していく、母の気持ちを考えていたのです。彼女の母親に対するやさしさなのです。お母さんは娘さんの短冊を見て「私にも書かせてください」と言われました。そして「神様がいらっしやるなら、賢沢かもしれませんが、娘より一日早く生かしてください」と書いて、じつと手を合わせて拝んでおられたそうです。

「私の身体が不自由なのは、神様が私から耐えられると思っただけです。私は神様に選ばれたんですね」...彼女の言葉です。私は胸がジーンとしました。思いやりって何でしょう。相手の立場に立って考えることだと私は思います。